

經濟論叢

第九十九卷 第一號

堀江保藏教授記念號

| | | |
|---------------------------------|-------|-----|
| 献 辞 | 大橋隆憲 | |
| 経営の理論と歴史 | 山本安次郎 | 1 |
| ゼネラル・モーターズ社における 経営組織と経営管理の展開 | 田杉競 | 24 |
| イギリス紡績業における 機械体系の確立過程 | 堀江英一 | 42 |
| 産業革命期南ウェールズ 鉄工業における企業者活動 | 角山榮 | 66 |
| 日本近代技術史の一研究 | 井上洋一郎 | 82 |
| 地租改正における地価算定法の形成過程 | 関順也 | 99 |
| 長浜縮緬機業の専売機構の変質 | 三島康雄 | 118 |
| プーリンとルカーチ | 平井俊彦 | 138 |

堀江保藏 教授 略歴・著作目録

昭和四十二年一月

京都大學經濟學會

献 辞

堀江保蔵教授は、昭和42年3月31日で定年退官されることになりました。まことに惜別の情にたえません。

先生は、昭和3年、京都帝国大学経済学部を御卒業ののち、副手、講師をへて、昭和9年2月、経済学部助教授に就任されました。最初、近世日本経済史を御研究になり、その研究は古典的労作『我国近世の専売制度』および『日本資本主義の成立』となって結実いたしました。その後、日本経済史と外国経済史との比較史的研究に関心をもたれ、「アメリカ経済史」の講義を担当されるかたわら、『アメリカ経済史概説』を世に問われました。

先生は、昭和20年3月、経済学部教授に昇任され、「経済史」講座を担当されて、今日にいたっております。その間、『西洋経済史概要』にみられるように、外国経済史研究を進められるとともに、近代経済史の担い手たる近代企業家の研究に重心を移され、数多くの研究成果をあげられました。ときには、「経営史総論」の講義を担当され、その豊かな学殖を余すところなく、教育面にも傾倒されました。

先生はまた、学内では京都大学評議員、経済学部長、そして京都大学附属図書館長を歴任されるとともに、学外では日本学術会議会員、社会経済史学会と日本経営史学会の理事の重責を果たされ、さらには海外の日本研究者との交流に大いに尽力されてきました。その功績はひろく世人の認めるところとなっております。

いま、定年ご退官にさいし、先生には今後とも御健勝で研究をお続けくださいますよう切にお祈りいたします。ここに、わたしたちの感謝の微意をこめて、先生にこのささやかな記念号を捧げます。

昭和42年1月

経済学部長 大橋隆憲